

基本計画書

基本計画										
事項		記入欄							備考	
計画の区分		研究科の専攻に係る課程の変更								
フカナ設置者		ガッコウホウジシ ヨウシヨウガクエン 学校法人 常翔学園								
フカナ大学の名称		セツナンダイバクダクイ 摂南大学大学院								
大学本部の位置		大阪府寝屋川市池田中町17番8号								
大学の目的		摂南大学大学院は、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設研究科等の目的		看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 看護学部看護学科 既設の大学院看護学研究科看護学専攻修士課程を博士前期課程に課程変更する。
	看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	年	人	年次 人	人	修士 (看護学)	保健衛生学 関係 (看護学関係)	年 月 第 年次 令和8年4月 第1年次	大阪府枚方市 長尾峠町 45番1号	
	看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (看護学)	令和8年4月 第1年次			
	計	6	—	14						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		摂南大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程)〔定員減〕(△2) (令和8年4月) 令和8年4月名称変更予定 摂南大学 理工学部 電気電子工学科→電気電子情報工学科								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件 単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程	18科目	7科目	—科目	25科目	30単位				
博士後期課程	4科目	3科目	—科目	7科目	19単位					
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の 教員 (助手を除く)		
新設分	看護学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	人	人	人	人	人	人	人	
		看護学専攻 (博士後期課程)	12 (12)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	11 (11)	
		11 (11)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)		
	計	12 (12)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	— (—)		
既設分	薬学研究科	医療薬学専攻 (博士課程)	22 (22)	11 (11)	18 (18)	0 (0)	51 (51)	0 (0)	8 (8)	
	理工学研究科	社会開発工学専攻 (博士前期課程)	19 (19)	10 (10)	3 (3)	0 (0)	32 (32)	0 (0)	0 (0)	
		生産開発工学専攻 (博士前期課程)	14 (14)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	0 (0)	
		生命科学専攻 (博士前期課程)	9 (9)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)	
		創生工学専攻 (博士後期課程)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
		生命科学専攻 (博士後期課程)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	

既設分	経済経営学研究科 経済学専攻 (修士課程)	10 (10)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
	経営学専攻 (修士課程)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)	
	法学研究科 法学専攻 (修士課程)	10 (10)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
	国際言語文化研究科 国際言語文化専攻 (修士課程)	14 (14)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	4 (4)	
	農学研究科 農学専攻 (博士前期課程)	30 (30)	13 (13)	5 (5)	0 (0)	48 (48)	0 (0)	3 (3)	
	農学専攻 (博士後期課程)	29 (29)	13 (13)	5 (5)	0 (0)	47 (47)	0 (0)	0 (0)	
	計	185 (185)	81 (81)	34 (34)	0 (0)	300 (300)	0 (0)	— (—)	
合計		197 (197)	87 (87)	36 (36)	0 (0)	320 (320)	0 (0)	— (—)	大学全体
職種		専属		その他		計			
事務職員		176 (176)		44 (44)		220 (220)			
技術職員		10 (10)		0 (0)		10 (10)			
図書館職員		4 (4)		16 (16)		20 (20)			
その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
指導補助者		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
計		190 (190)		60 (60)		250 (250)			
校地等	区分	専用	共用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校舎敷地	296,986.39㎡	0㎡	0㎡		296,986.39㎡			
	その他	17,352.60㎡	0㎡	0㎡		17,352.60㎡			
	合計	314,338.99㎡	0㎡	0㎡		314,338.99㎡			
校舎	専用	共用	共用する他の 学校等の専用		計				
	142,460.38㎡ (142,460.38㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		142,460.38㎡ (142,460.38㎡)				
講義室等・新設研究科等の 専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室		新設研究科等の 専任教員研究室		大学全体		
	89 室	108 室	114 室		33 室				
図書・設備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	機械・ 器具 点	標本 点	<ul style="list-style-type: none"> ・学部との共用分を含む ・大学全体での共用分 図書：554,508冊 〔194,580冊〕 学術雑誌：4,190種 〔2,652種〕 視聴覚資料：11,202点 	
	看護学研究科	33,650〔2,733〕 (27,605〔2,718〕)	168〔0〕 (168〔0〕)	356〔213〕 (356〔213〕)	6〔0〕 (6〔0〕)	650 (650)	50 (50)		
	計	33,650〔2,733〕 (27,605〔2,718〕)	168〔0〕 (168〔0〕)	356〔213〕 (356〔213〕)	6〔0〕 (6〔0〕)	650 (650)	50 (50)		
経費の見積り 及び維持方法 の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	<ul style="list-style-type: none"> ・教員1人当り研究費等は研究科単位での算出不能なため、学部との合計 ・共同研究費等は大学全体 ・図書購入費は、電子ジャーナル、データベース費用を含む 	
	教員1人当り研究費等		500千円	500千円	500千円	—千円	—千円		
	共同研究費等		121,800千円	121,800千円	121,800千円	—千円	—千円		
	図書購入費	5,100千円	5,100千円	5,100千円	5,100千円	—千円	—千円		
	設備購入費	0千円	0千円	0千円	0千円	—千円	—千円		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
	看護学専攻（博士前期課程）		810千円	660千円	—千円	—千円	—千円		
看護学専攻（博士後期課程）		880千円	660千円	660千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、受取利息・配当金収入等							

既設大学等の状況	大学等の名称	摂南大学大学院							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学)	0.56	平成24年度	大阪府枚方市 長尾峠町45番1号
	理工学研究科 博士前期課程 社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.83	平成元年度	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
	生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.08	平成26年度	
	生命科学専攻	2	10	—	20	修士 (理学)	0.85	平成26年度	
	理工学研究科 博士後期課程 創生工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.33	平成20年度	
	生命科学専攻	3	2	—	6	博士 (理学)	0.33	平成28年度	
	経済経営学研究科 修士課程 経済学専攻	2	5	—	10	修士 (経済学)	0.20	平成26年度	
	経営学専攻	2	5	—	10	修士 (経営学)	0.20	平成26年度	
	法学研究科 修士課程 法律学専攻	2	5	—	10	修士 (法学)	0.40	平成9年度	
	国際言語文化研究科 修士課程 国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成11年度	
	看護学研究科 修士課程 看護学専攻	2	6	—	12	修士 (看護学)	0.33	平成28年度	大阪府枚方市 長尾峠町45番1号
	農学研究科 博士前期課程 農学専攻	2	20	—	40	修士 (農学)	1.05	令和6年度	令和6年度研究科設置
	農学研究科 博士後期課程 農学専攻	3	3	—	6	博士 (農学)	1.33	令和6年度	

既設大学等の状況	大学等の名称	摂南大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
既設大学等の状況	理工学部						0.94		大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	生命科学科	4	105	3年次5	430	学士(理学)	0.77	平成22年度	
	住環境デザイン学科	4	85	3年次5	350	学士(工学)	1.04	平成22年度	
	建築学科	4	80	3年次5	330	学士(工学)	1.08	昭和50年度	
	機械工学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.90	昭和50年度	
	電気電子工学科	4	105	3年次5	430	学士(工学)	1.02	昭和50年度	
	都市環境工学科	4	80	3年次5	330	学士(工学)	0.88	平成22年度	
	外国語学部								令和4年度より学生募集停止 令和6年度より3年次編入学募集停止
	外国語学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和57年度	
	国際学部								令和4年度学部設置
	国際学科	4	250	3年次5	1,010	学士(文学)	0.96 0.96	令和4年度	
	経営学部								令和4年度入学定員増(110人) 令和6年度編入学定員増(2人)
	経営学科	4	280	3年次6	1,132	学士(経営学)	1.06 1.06	平成18年度	
	経営情報学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	昭和57年度	
	薬学部								大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	0.98 0.98	平成18年度	
	法学部								大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	法律学科	4	280	3年次5	1,130	学士(法学)	1.01 1.01	昭和63年度	
	経済学部								大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	経済学科	4	280	3年次4	1,128	学士(経済学)	1.02 1.02	平成22年度	
看護学部								大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.02 1.02	平成24年度		
農学部								令和2年度	
農業生産学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.95 0.85			
応用生物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.00			
食品栄養学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.99			
食農ビジネス学科	4	100	—	400	学士(農学)	0.97			
現代社会学部								大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
現代社会学科	4	250	—	750	学士(社会学)	1.02 1.02	令和5年度		

既設大学等の状況	大学等の名称	大阪工業大学大学院							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
既設大学等の状況	工学研究科 博士前期課程 建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.23	平成29年度	大阪府大阪市旭区 大宮5丁目16番1号
	電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.66	平成29年度	
	化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.98	平成29年度	
	工学研究科 博士後期課程 建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.50	平成29年度	
	電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.33	平成29年度	
	化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.83	平成29年度	
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程 ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.50	平成29年度	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程 ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.50	平成29年度	
	情報科学研究科 博士前期課程 情報科学専攻	2	40	—	80	修士 (情報学)	1.11	平成12年度	大阪府枚方市北山 1丁目79番1号
	情報科学研究科 博士後期課程 情報科学専攻	3	5	—	15	博士 (情報学)	0.20	平成14年度	
	知的財産研究科 専門職学位課程 知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士 (専門職)	1.56	平成17年度	大阪府大阪市旭区 大宮5丁目16番1号

既設大学等の状況	大学等の名称	大阪工業大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
		年	人	年次人	人		倍		
既設大学等の状況	工学部						1.01		大阪府大阪市旭区 大宮5丁目16番1号
	都市デザイン工学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.03	昭和24年度	
	建築学科	4	150	3年次 5	610	学士 (工学)	1.01	昭和24年度	
	機械工学科	4	140	3年次 5	570	学士 (工学)	1.06	昭和25年度	
	電気電子システム工学科	4	125	3年次 5	510	学士 (工学)	1.02	昭和24年度	
	電子情報システム工学科	4	110	3年次 5	450	学士 (工学)	1.05	昭和34年度	
	応用化学科	4	130	3年次 5	530	学士 (工学)	0.95	昭和33年度	
	環境工学科	4	75	3年次 5	310	学士 (工学)	0.89	平成18年度	
	生命工学科	4	70	3年次 5	290	学士 (工学)	1.07	平成22年度	
	ロボティクス&デザイン工学部						1.08		大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号
	ロボット工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.11	平成29年度	
	システムデザイン工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.04	平成29年度	
	空間デザイン学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.10	平成29年度	
	情報科学部						1.01		大阪府枚方市北山 1丁目79番1号
データサイエンス学科	4	80	—	290	学士 (情報学)	0.96	令和3年度	令和7年度入学定員増(10人)	
実世界情報学科	4	80	—	80	学士 (情報学)	—	令和7年度	令和7年度学科設置	
情報知能学科	4	100	3年次 5	380	学士 (情報学)	1.07	平成8年度	令和7年度入学定員増(10人)	
情報システム学科	4	100	3年次 5	425	学士 (情報学)	0.95	平成8年度	令和7年度入学定員減(△5人)	
情報メディア学科	4	100	3年次 5	425	学士 (情報学)	1.04	平成14年度	令和7年度入学定員減(△5人)	
ネットワークデザイン学科	4	—	—	—	学士 (情報学)	—	平成19年度	令和7年度より学生募集停止 令和9年度より3年次編入学募集停止	
知的財産学部						1.01		大阪府大阪市旭区 大宮5丁目16番1号	
知的財産学科	4	140	3年次 10	580	学士 (知的財産学)	1.01	平成15年度		

既設大学等の状況	大学等の名称	広島国際大学大学院							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	平成15年度	広島県呉市広古新開 5丁目1番1号	
	看護学研究科 博士後期課程 看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	平成24年度		
	医療・福祉科学研究科 博士前期課程 医療工学専攻	2	—	—	—	修士 (医療工学)	—	平成21年度	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和6年度より学生募集停止
	医療・福祉科学研究科 博士後期課程 医療工学専攻	3	—	—	—	博士 (医療工学)	—	平成21年度		令和6年度より学生募集停止
	医療・福祉科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	—	—	—	修士 (医療福祉学)	—	平成21年度		令和6年度より学生募集停止
	医療経営学専攻	2	—	—	—	修士 (医療経営学)	—	平成21年度		
	心理科学研究科 専門職学位課程 実践臨床心理学専攻	2	—	—	—	臨床心理修士 (専門職)	—	平成21年度	広島県呉市広古新開 5丁目1番1号	令和6年度より学生募集停止
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.12	平成24年度		
	医療科学研究科 博士前期課程 保健医療学専攻	2	5	—	10	修士 (医療技術学)	0.20	令和6年度	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和6年度研究科設置
	リハビリテーション学専攻	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション学)	0.40	令和6年度		
	医療科学研究科 博士後期課程 保健医療学専攻	3	2	—	4	博士 (医療技術学)	0.00	令和6年度		
	リハビリテーション学専攻	3	2	—	4	博士 (リハビリテーション学)	0.00	令和6年度		
	健康科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.00	令和6年度		令和6年度研究科設置
	医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.00	令和6年度		
	健康科学研究科 博士前期課程 心理学専攻	2	20	—	40	修士 (心理学)	0.70	令和6年度		
	健康科学研究科 博士後期課程 心理学専攻	3	2	—	4	博士 (心理学)	0.00	令和6年度		

既設大学等の状況	大学等の名称	広島国際大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	保健医療学部 診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.02 1.14	平成10年度	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
	医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻 救急救命学科	4	100	—	400	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.93	平成25年度		
	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	4	50	—	200	学士 (救急救命学)	1.03	令和2年度		
	理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚療法学専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	720	学士 (理学療法学) (作業療法学) (言語聴覚療法学) (義肢装具学)	1.02 1.02	平成25年度		
	リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	—	学士 (義肢装具学)	—	平成25年度		令和2年度より学生募集停止
	医療経営学部 医療経営学科	4	—	—	—	学士 (医療経営学)	—	平成23年度		令和2年度より学生募集停止
	心理学部 心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成27年度		令和2年度より学生募集停止 令和4年度より3年次編入学募集停止
	看護学部 看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	0.96 0.96	平成15年度		広島県呉市広古新開 5丁目1番1号
	薬学部 薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.70 0.70	平成18年度		
	医療栄養学部 医療栄養学科	4	—	—	—	学士 (医療栄養学)	—	平成26年度		令和2年度より学生募集停止
	健康科学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	—	—	—	学士 (医療福祉学)	0.79	令和2年度		広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
	医療経営学科	4	90	—	360	学士 (医療経営学)	0.92	令和2年度		
	心理学科	4	100	—	400	学士 (心理学)	0.69	令和2年度		
	医療栄養学科	4	60	—	240	学士 (医療栄養学)	0.90	令和2年度		広島県呉市広古新開 5丁目1番1号
	社会学科 地域創生学専攻 社会福祉学専攻	4	100	—	200	学士 (地域創生学) (社会福祉学)	0.53	令和6年度		広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
	健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	4	70	—	280	学士 (健康スポーツ学)	1.10 1.10	令和2年度		広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
										令和6年度学科設置

附属施設の概要	<p>名称：テクノセンター 目的：工学分野教育 所在地：大阪府寝屋川市池田中町17番8号 設置年月：平成11年4月 規模等：面積691.81㎡</p>	
	<p>名称：薬用植物園 目的：薬学分野教育 所在地：京都府八幡市美濃山西ノ口1番 設置年月：昭和57年4月 規模等：面積1,720.00㎡</p>	
	<p>名称：臨床薬学教育研究センター 目的：薬学分野教育 所在地：大阪府枚方市長尾峠町45番1号 設置年月：平成20年4月 規模等：面積1,584.59㎡</p>	
	<p>名称：農場 目的：農学分野教育 所在地：京都府八幡市美濃山一ノ谷1番 設置年月：平成32年4月 規模等：面積15,632.60㎡</p>	

教育課程等の概要																
（看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員
共通科目	看護学研究	1前	/	2			○			1						
	多職種連携演習	1後	/	2				○			1					
	臨床看護倫理	1前	/	1			○							1		
	フィジカルアセスメント特論	1前	/	2			○			1						
	臨床推論特論	1前	/	2			○			1						
	薬物治療学特論	1後	/	2			○							4	オムニバス	
	医療経済特論	1前	/	2			○							1		
	地域医療防災演習	1通	/	1				○						3	オムニバス	
	看護人間工学特論	1後	/	2			○							2	オムニバス	
	看護教育特論	1前	/	2			○			1						
	疫学・保健統計学特論	1前	/	2			○			1						
	国際保健学特論	1後	/	1			○			1	1				共同	
小計(12科目)	—	/	2	19	0				5	2	0			11	—	
専門科目	基盤・療養支援看護学領域	基盤実践看護学特論	1前	/	2			○			2	1	1			オムニバス
		基盤実践看護学演習	1後	/	2				○		2	1	1			共同
		基盤実践看護学援助特論	2前	/	2			○			1	1	1			オムニバス
	療養支援看護学領域	療養支援看護学特論	1前	/	2			○			3	1				オムニバス・共同（一部）
		療養支援看護学演習	1後	/	2				○		3	3				共同
		療養支援看護学援助特論	2前	/	2			○			3	1				オムニバス・共同（一部）
	小計(6科目)	—	/	0	12	0				5	4	1			0	—
地域・次世代発達支援看護学領域	地域支援看護学	地域支援看護学特論	1前	/	2			○			3					オムニバス・共同（一部）
		地域支援看護学演習	1後	/	2				○		3	1				共同
		地域支援看護学援助特論	2前	/	2			○			3					オムニバス・共同（一部）
	次世代発達支援看護学	次世代発達支援看護学特論	1前	/	2			○			3					オムニバス
次世代発達支援看護学演習		1後	/	2				○		3	1	1			共同	
次世代発達支援看護学援助特論		2前	/	2			○			3					オムニバス	
小計(6科目)	—	/	0	12	0				6	2	1			0	—	
研究科目	看護学特別研究	1～2通	/	8				○		11	6	2				
	小計(1科目)	—	/	8	0	0				11	6	2			0	
合計(25科目)				—	/	10	43	0						11	—	
学位又は称号		修士（看護学）			学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等									
1. 専攻する研究領域の授業科目のうち、基盤実践、療養支援、地域支援および次世代発達支援のいずれかの専攻分野から看護学特論、看護学演習、看護学援助特論の各2単位、および共通科目の看護学研究2単位を含む16単位、看護学特別研究8単位、合計30単位以上を修得すること。なお、専攻する研究分野以外の授業科目（共通科目、看護学特別研究を除く）を修得した場合、2単位までを共通科目とみなし、修了に必要な単位数に含める。 2. 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと修士論文の作成に取り組み、修士論文の審査および最終試験を受けるものとする。							1 学年の学期区分			2期						
							1 学期の授業期間			15週						
							1 時限の授業時間			90分						

教育課程等の概要															
（看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究方法特論	1前	/	2			○			3					オムニバス
	看護実践応用特論	1後	/	1			○			6					オムニバス・共同（一部）
	小計(2科目)	—	/	3	0	0	—	—	—	8	0	0			—
専門科目	基盤・療養支援看護学領域 基盤・療養支援看護学特論	1前	/	2			○			5					オムニバス・共同（一部）
	基盤・療養支援看護学領域 基盤・療養支援看護学演習	1後	/	2				○		5	2				
	地域・次世代発達支援看護学領域 地域・次世代発達支援看護学特論	1前	/	2			○			6					オムニバス・共同（一部）
	地域・次世代発達支援看護学領域 地域・次世代発達支援看護学演習	1後	/	2				○		6	1	1			
	小計(4科目)	—	/	0	8	0	—	—	—	11	3	1			—
研究科目	特別研究	1～3通	/	12				○		11	2	1			
	小計(1科目)	—	/	12	0	0	—	—	—	11	2	1			—
合計（7科目）				—	/	15	8	0	—	—	—	—	—	—	—
学位又は称号		博士（看護学）			学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）						
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等								
1. 専攻する研究領域の看護学特論、看護学演習の各2単位、および共通科目3単位、特別研究12単位、合計19単位以上を修得すること。 2. 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと博士論文の作成に取り組み、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要

（基礎となる学部：看護学部 看護学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
専門科目	専門基礎	人体の構造と機能Ⅰ	1前	○	1			○								1	オムニバス
		人体の構造と機能Ⅱ	1前	○	1			○								1	
		人体の構造と機能Ⅲ	1後	○	1			○				1					
		代謝栄養学	1後	○	1			○								1	
		食品学	1後			1		○								1	
		病理学総論	1後	○	1			○			1						
		感染と防御	1後	○	1			○								1	
		薬理学総論	1後	○	1			○								1	
		薬物治療学	2前	○	1			○								1	
		病院薬学演習	3前	○	1				○							6	
		健康相談活動の理論と方法	3前			2		○								2	
		疾病・治療論Ⅰ	1後	○	1			○			1						
		疾病・治療論Ⅱ	2前	○	1			○			1						
		疾病・治療論Ⅲ	2後	○	1			○			1						
		疾病・治療論Ⅳ	2後	○	1			○			1						
		疾病・治療論Ⅴ	2後	○	1			○			1						
		疾病・治療論Ⅵ	2後	○	1			○							1		
		疫学	2後	○	1			○			1						
		保健医療福祉行政論	2前	○	2			○			1		1				
		公衆衛生学	2後	○	1			○			1						
		医療経済論	2前			2		○								1	
		看護関係法規	2後	○	1			○			1	1					
		社会福祉論	1後			1		○								1	
小計(23科目)		—	—	20	6	0	—			4	1	1	0		17	—	
基礎看護学	看護学概論	1前	○	2			○			1	1	1	3			オムニバス	
	看護対人関係論	1前	○	1			○			1	1	1	3				
	基礎看護技術Ⅰ	1後	○	2				○		1	1	1	3	2			
	基礎看護技術Ⅱ	2前	○	2				○		1	1	2	3	1			
	フィジカルアセスメント	2前	○	2				○		1	1	1	3	1			
	看護過程論	2後	○	1				○		1	1	1	3	2			
	家族看護学	2前	○	1			○			3		1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1前又は後	○	1					○	1	1	2	3	1			
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	○	2					○	1	1	2	3	2			
小計(9科目)		—	—	14	0	0	—			4	1	3	3		3	—	
地域・在宅看護学	公衆衛生看護学概論	2後	○	2			○			1						オムニバス	
	在宅看護学概論	2前	○	1			○			1							
	在宅看護学援助論Ⅰ	2後	○	2				○		2		3					
	在宅看護学援助論Ⅱ	3前	○	1				○		1		2					
	在宅看護学実習	3後又は4前	○	2					○	1		2					
小計(5科目)		—	—	8	0	0	—			2	0	3	0		0	—	

教育課程等の概要

(基礎となる学部：看護学部 看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 (助手を除く) の教員		
専門科目	成人看護学	成人看護学概論	2前	○	2			○			2	2						オムニバス
		成人看護学援助論Ⅰ(急性)	2後	○	1				○		1	2		1				
		成人看護学援助論Ⅰ(慢性)	2後	○	1				○		1	1	1					
		成人看護学援助論Ⅱ(急性)	3前	○	1				○		1	2		1				
		成人看護学援助論Ⅱ(慢性)	3前	○	1				○		1	1	2					
		成人看護学実習(急性)	3後又は4前	○	3					○	1	2		1		1		
		成人看護学実習(慢性Ⅰ)	2前又は後	○	1					○	1	1	2					
		成人看護学実習(慢性Ⅱ)	3後又は4前	○	2					○	1	1	2					
小計(8科目)	—	—	—	12	0	0	—	—	2	3	2	1		1		—		
老年看護学	老年看護学概論	1後	○	1				○		1								
	老年看護学援助論Ⅰ	2後	○	1				○		1	2		1					
	老年看護学援助論Ⅱ	3前	○	1				○		1	2		1					
	老年看護学実習Ⅰ	1前又は後	○	1					○	1	2		1		1			
	老年看護学実習Ⅱ	2前又は後	○	1					○	1	2		1		1			
	老年看護学実習Ⅲ	3後又は4前	○	2					○	1	2		1		1			
小計(6科目)	—	—	—	7	0	0	—	—	1	2	0	1		1		—		
小児看護学	小児看護学概論	2前	○	1				○		1								
	小児看護学援助論Ⅰ	2後	○	1				○		2		1	1					
	小児看護学援助論Ⅱ	3前	○	1				○		2		1	1					
	小児看護学実習	3後又は4前	○	2					○	2		1	1					
小計(4科目)	—	—	—	5	0	0	—	—	2	0	1	1		0		—		
母性看護学	母性看護学概論	2前	○	1				○		1								
	母性看護学援助論Ⅰ	2後	○	1				○			2	1	1					
	母性看護学援助論Ⅱ	3前	○	1				○			2	1	2					
	母性看護学実習	3後又は4前	○	2					○	1	2	1	2					
小計(4科目)	—	—	—	5	0	0	—	—	1	2	1	2		0		—		
精神看護学	精神看護学概論	2前	○	1				○		1			1					
	精神看護学援助論Ⅰ	2後	○	1				○		1	1		1					
	精神看護学援助論Ⅱ	3前	○	1				○		1	1		1					
	精神看護学実習	3後又は4前	○	2					○	1	1		1					
小計(4科目)	—	—	—	5	0	0	—	—	1	1	0	1		0		—		
看護の統合と実践	看護倫理	4前又は後	○	1				○		1							オムニバス 隔年 オムニバス オムニバス	
	看護管理学	4前又は後	○	1				○				1			1			
	看護教育学	4前又は後			1			○		1								
	国際看護学	4前又は後			1			○								1		
	海外医療セミナー	1前又は後			1			○		1			1					
	災害看護学	4前又は後		1				○		1					1			
	感染看護学	2前又は後		1				○		4	1	1	1					
	看護の探求	4通			1			○		5	4	3	1					
	看護研究Ⅰ	3前	○	2				○		12	9	9	7					
	看護研究Ⅱ	4通	○	2				○		12	9	9	1					
	総合看護学演習	4前又は後	○	1				○		4	3	4			1			
	統合看護学実習	4前又は後	○	2					○	10	9	8	9					
	患者安全	2前又は後	○	1					○	2		1	1		3			

教育課程等の概要

(基礎となる学部：看護学部 看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 (助手を除く) の教員		
専門科目	看護の統合と実践	患者コミュニケーション	2前又は後	○	1				○			1	1	1	3		3	
		臨床医療演習	4通						○			1	2	1	1		2	
		先端医療演習	4通							○			1	1			2	
		地域医療実践演習	4通							○			1	2			1	
		小計(17科目)	—	—	—	13	7	0	—	—	—	12	9	9	9		14	—
	公衆衛生看護学 (保健師課程)	学校保健	3前又は後						○						1			
		産業保健	3前又は後						○			1						
		保健統計学	3前						○			1						
		公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3前						○			1		1				
		公衆衛生看護学活動論Ⅱ	3後						○			1		1				
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	3後							○		1		1				
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	4前							○		1		2				
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前又は後								○	1		2				
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前又は後								○	1		2				
	小計(9科目)	—	—	—	0	14	0	—	—	—	2	0	3	0		0	—	
	助産学 (助産師課程)	助産学概論	3通						○			2	1					
		助産診断・技術学Ⅰ	3・4前又は後							○		2						
助産診断・技術学Ⅱ		3・4前又は後							○			1						
助産診断・技術学Ⅲ		3・4前又は後							○				1					
助産診断・技術学Ⅳ		3・4前又は後							○		1							
地域母子保健		3・4前又は後						○			1	2	1	2				
助産技術学演習Ⅰ		3・4前又は後							○		1	1	1	2				
助産技術学演習Ⅱ		3・4前又は後							○			1		1				
助産技術学演習Ⅲ		3・4前又は後							○		1	1	1	1				
助産管理論		3・4前又は後							○		1							
助産学実習Ⅰ		4通								○	1	2	1	2				
助産学実習Ⅱ		4通								○	1	2	1	2				
助産学実習Ⅲ		4通								○	1	2	1	2				
小計(13科目)	—	—	—	0	24	0	—	—	—	2	2	1	2		0	—		
養護概説		2前											1					
小計(1科目)	—	—	—	0	2	0	—	—	—	0	0	1	0		0	—		
教養科目	人文科学系	倫理学	1前						○								1	
		哲学から学ぶ	1前						○								1	
		生命倫理	1前							○							1	
		地誌学	1後							○							1	
		人文地理学	1後							○							1	
		文学から学ぶ	2前							○							1	
		心理学	2前							○							1	
		文化人類学	2後							○							1	
		教育学	2後							○							1	
	小計(9科目)	—	—	—	0	18	0	—	—	—	0	0	0	0		9	—	
社会科学系	ボランティア活動論	1前							○								1	
	経済学入門	1前							○								1	
	日本の政治	1前							○								1	

教育課程等の概要

(基礎となる学部：看護学部 看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
教養科目	社会科学系	法学入門	1後			2		○								1	
	経営学入門	1後			2		○									1	
	女性学	1後			2		○									1	
	観光学	1後			2		○									1	
	日本国憲法	2前			2		○									1	
	小計(8科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—
自然・科学技術系	生物・化学の基礎	1前			2		○									1	
	教養数学	1前			2		○									1	
	生物と環境	2前			2		○									1	
	地学	3前			2		○									1	
	地学実験	3前			2				○							2	
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—
英語系	英語Ⅰ	1前	○	1			○									3	
	英語Ⅱ	1後	○	1			○									3	
	英語Ⅲ	2前	○	1			○									3	
	英語Ⅳ	3前			1		○									1	
	英語Ⅴ	4前又は後			1		○				1						
	小計(5科目)	—	—	3	2	0	—	—	—	—	1	0	0	0		4	—
外国語系	中国語	1前又は後			1		○									1	
	韓国語	1前又は後			1		○									1	
	小計(2科目)	—	—	0	2	0	—	—	—	—	0	0	0	0		2	—
日本語系	日本語表現法	1前	○	1												1	
	小計(1科目)	—	—	1	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0		1	—
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	1前	○	1				○			1					1	
	情報リテラシーⅡ	3前			1		○				1	1				4	
	データサイエンス基礎	1後			1		○									1	
	統計の基礎	2後	○	1			○				1					1	
	小計(4科目)	—	—	2	2	0	—	—	—	—	1	0	1	0		6	—
キャリア系	キャリアデザイン	1前	○	1			○									1	
	キャリア入門	1前又は後	○	1			○				6	7	5	2			
	小計(2科目)	—	—	2	0	0	—	—	—	—	6	7	5	2		1	—
スポーツ系	スポーツ科学Ⅰ	1後	○	1					○							2	
	スポーツ科学Ⅱ	2後			1				○							2	
	小計(2科目)	—	—	1	1	0	—	—	—	—	0	0	0	0		2	—
地域志向系	地域と私	1前			2		○									1	
	北河内を知る	1後			2		○									2	
	ソーシャル・イノベーション実務総論	1後			2		○									1	
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2通			2				○							2	
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2通			2				○							2	
	地域貢献実践演習	3通			2				○							1	
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	—	—	—	—	0	0	0	0		7	—
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	1・2・3・4前又は後			2		○									1	
	教養特別講義Ⅱ	1・2・3・4前又は後			2		○									1	
	教養特別講義Ⅲ	1・2・3・4前又は後			2		○									1	

教育課程等の概要

(基礎となる学部：看護学部 看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員
教養科目	教養特別講義Ⅳ	1・2・3・4期又は後			2		○								1	
	教養特別講義Ⅴ	1・2・3・4期又は後			2		○								1	
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	1・2・3・4期			2		○								1	
	日本事情FⅡ	1・2・3・4後			2		○								1	
	日本語読解FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語読解FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	日本語文法FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語文法FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	日本語表現作文FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語表現作文FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	日本語総合FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語総合FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	専門日本語FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	専門日本語FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	日本語会話FⅠ	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語会話FⅡ	1・2・3・4後			1		○								1	
	小計(14科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	1・2・3・4期			2		○								1	
	日本事情RⅡ	1・2・3・4後			2		○								1	
	日本語読解R	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語文法R	1・2・3・4後			1		○								1	
	日本語表現作文R	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語総合R	1・2・3・4後			1		○								1	
	専門日本語R	1・2・3・4期			1		○								1	
	日本語会話R	1・2・3・4後			1		○								1	
	小計(8科目)	—	—	0	10	0	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—
合計(174科目)		—	—	98	152	0	—	—	—	—	—	—	—	—	94	—
学位又は称号	学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等									
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、専門科目96単位以上〔必修科目89単位、選択科目7単位以上(専門基礎から3単位以上、看護の統合と実践から1単位以上を含む)〕、教養科目32単位以上〔必修科目9単位、選択科目23単位以上(注1)〕の合計128単位以上を修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。 (注1)〔教養科目の選択科目〕 人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系から各系2単位以上を含む16単位以上。英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系から3単位以上を含む。 〔履修科目の登録の上限：48単位(年間)〕							1学年の学期区分			2期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						

授業科目の概要				
(看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	看護学研究		看護学における研究の意義を理解し、看護を論理的・客観的・実証的に捉える視点を学ぶ。看護学研究における基本的アプローチの一つである質的研究の概要を理解し、その方法論の持つ特徴、適用、限界について考察する。さらに、研究論文のクリティーク、研究計画の作成について学ぶとともに、看護学研究の倫理を理解したうえで、研究者としての基本的あり方を学ぶ。加えて、看護実践に結びつく看護学研究についても考察する。	
	多職種連携演習		保健・医療・介護・福祉分野における多職種連携の重要性を理解し、患者・利用者・家族・コミュニティを中心とした課題に焦点を当てて共通の目標を設定し、課題解決および目標達成に向けて関わる人々と協働することができる多職種連携能力を身につける。これまでの臨床経験や興味のある研究テーマに関連した多職種連携にて解決を図るべき課題を設定し、フィールドワークを計画する。フィールド（課題に応じた病院・施設等）では、患者・利用者への直接ケアへの参加や関係者との対話を通して、問題点を明らかにして解決策を探る。自らの実践における課題や研究テーマについて、多職種連携の視点を加えることで、新たな発想を得る。	
	臨床看護倫理		臨床・教育・研究のあらゆる場における倫理的問題について、看護の実際例を通して、看護における倫理の必要性和重要性を考察する。加えて、倫理的問題の分析を実践的に学び、看護師としての対応のあり方、アボドケーターとしての看護の役割と機能を考察する。臨床倫理とは何かについて概観し、倫理原則、看護実践、看護管理、倫理的問題解決について学修する。また、倫理的課題を解決していくプロセスを通して調整を行うための必要な判断能力を養い、看護専門職としての役割や責務倫理調整について探究する。さらに、ディスカッションを通じて今日の看護における倫理的課題について模索する。	
	フィジカルアセスメント特論		臨床推論・臨床判断の考え方およびフィジカルアセスメントの概念、目的、方法、看護における意義と必要性を学修する。自身の経験や既知の知識と技術を活用し、身体診査の理解を深める。症状・所見からフィジカルイグザミネーションとアセスメントを系統的に実施し、看護の対象となる人の身体状況を判断するための能力を培う。また、看護における臨床判断能力を涵養するための教育方法について検討し、考察する。	
	臨床推論特論		質の高い看護・養護を実践する上で、担当する患者の診断・治療に至るプロセスを理解しておくことは極めて重要である。本特論では、すでに臨床経験を有する上級看護実践者および研究者を対象として、実際の臨床例についてカンファレンス形式で検討し、主訴、症状、臨床徴候、検査所見から治療に至る過程と病態について学修する。また関連する最新の知見や治療法について文献の検索を行い、看護師の視点からみた診療上の問題点や倫理的課題について討議する。本特論では、担当者が実際に診療に関与した症例および模擬症例を用いて、演習方式で授業を進める。疾患・病態についての理解を深めるとともに、優れたプレゼンテーションの方法や、病歴要約の作成法についても学修する。	

<p>共通科目</p>	<p>薬物治療学特論</p>	<p>臨床現場で実施される薬物療法に関する知的基盤および実践的能力を身につける。すなわち、投与される医薬品に関する情報を収集し、そのエビデンスに基づいた薬物治療（投与量や投与法の選択、投薬後モニタリング、副作用の予防・早期発見等など）を実践できる能力を養成する。加えて、患者に対する個別的な薬物治療や医療倫理について、看護師として必要な判断について学修する。さらに、臨床現場における医薬品の有効性・安全性の評価や各種疾患における薬物治療について、また乳幼児、妊婦・授乳婦、高齢者など注意が必要な患者に対する薬物治療について論ずる。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (23 菊田 真穂／4回) 医薬品の適正使用、各種疾患の薬物治療（抗がん剤調製時の注意点、抗がん剤投与時の副作用への対応）などについて解説・事前学習し、討論を行う。</p> <p>(24 辻 敏和／4回) チーム医療、各種疾患の薬物治療（妊婦・授乳婦の薬物治療、注射剤の配合変化、注射薬の取り扱い）について解説・事前学習し、討論を行う。</p> <p>(26 首藤 誠／4回) EBM や個別医療、各種疾患の薬物治療（小児の薬物治療、精神領域の病態、精神領域での薬物治療）などについて解説・事前学習し、討論を行う。</p> <p>(28 長谷部 茂／3回) 感染症の薬物治療（HIV の病態など）について解説・事前学習し、討論を行う。</p>	<p>オムニバス方式</p>
	<p>医療経済特論</p>	<p>経済・経営管理の諸理論を理解し、保健・医療・福祉における経済・経営的思考を修得するとともに、政策構築を考察できる力を養う。担当者の政令指定都市の高医療機能病院に15年間勤務した経験から、医療現場での課題に対する実践的演習を行う。「認定看護管理者セカンドレベル、サードレベルカリキュラム基準」に準拠し、保健医療福祉と経済論の視点、ヘルスケアサービスの経営管理・経済性の視点、看護経営の今後のあり方の視点から考察を行う。</p>	
	<p>地域医療防災演習</p>	<p>被災地において被災者の健康維持支援を行う看護師の役割について学ぶ。はじめに自然災害の発生原因について学習し、拠点施設の室内空間構成や被害事例について、また、都市における拠点施設の空間分布等について理解を深める。次に、阪神・淡路大震災や東日本大震災における事例を基に、災害看護および被災者・支援者のメンタルケアの重要性を理解する。避難所運営訓練等、地域の災害研修を体験することで、地域防災に寄与する看護師としての知識・技能を身につける。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (21 池内 淳子／9回) 地震・津波など自然災害や拠点施設となる病院の構造、被害事例、被災者の健康管理に着目した医療・公衆衛生・福祉のマネジメントなどについて理解する。</p> <p>(25 榊 愛／3回) 都市における駅や公共建物の配置を学び、空間分布特性と人の暮らしの関係を理解する。</p> <p>(31 高田 洋介／3回) 阪神・淡路大震災や東日本大震災時、その他の自然災害における被災者の健康管理について理解する。</p>	<p>オムニバス方式</p>

<p>共通科目</p>	<p>看護人間工学特論</p>	<p>人間工学は、人間が快適に効率的に、かつ安全に「もの」を使用できるように、あるいは「労働」ができるように、機器や製品・施設・環境などを人間の心理・生理・身体の特性に適合させる技術または方法論のための学問である。製品にとっては安全に使いやすいという付加価値を与えるため、また人間にとっては健康で生き生きと働けるという付加価値を与えるための追究がなされている。本講義では、プロダクトデザイン、インテリア設計、作業設計などに用いられる人間工学的方法について、基礎と応用、並びに国内外の研究開発動向などを学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (22 奥野 竜平/8回))</p> <p>人間工学の基礎、人間の身体的特性・生理・心理特性、ボディメカニクス、ヒューマンエラーなど看護と人間工学について理解する。</p> <p>(27 西 恵理/7回)</p> <p>人間工学の方法論、看護人間工学と看護師・患者、介護・福祉機器、ユーザビリティ評価、生体計測について理解する。</p>	<p>オムニバス方式</p>
	<p>看護教育特論</p>	<p>看護教育の課題と解決方法を理解し、看護教育の教授活動を展開するために必要な基本的知識を修得する。看護教育に深く関連する教育学について理解し、看護教育課程の編成や授業設計、教育方法、評価方法について理解する。授業では、看護教育に関連する基礎的理解が必要な事項について、適宜研究論文や書籍を紹介する。それぞれのテーマに関連する文献を概説した後、学生間でプレゼンテーションと討議を行い、理解を深める。看護教員や看護職者として教育的関わりの基礎となる知識を獲得し、看護教育のあり方や課題、その解決方法について自己の考えを明確にし、検討する。</p>	
	<p>疫学・保健統計学特論</p>	<p>保健医療分野において量的研究を行うために必要な考え方と方法論を学ぶ。講義では、集団における健康/疾病の分布とその関連要因を明らかにするための疫学について、また因果関係の有無を判断するために用いられる統計学について、それぞれ保健医療分野で用いられる事例を用いながら基本的な考え方について学ぶ。理解を深めるために演習問題も行う。</p>	
	<p>国際保健学特論</p>	<p>グローバル化が進み、日本の少子・高齢化や労働力不足が深刻化する今日、日本でも国際移民が増えており、多様化はますます進んでいる。そうした中、移民の日本社会における生活や健康は、当事者である移民にとってだけでなく、移民受入のホスト国である日本にとっても重要なテーマである。授業では、日本の生活者としての移民の健康について取り上げるとともに、看護師が外国人患者に対処する際の課題と対応について取り上げる。</p>	<p>共同</p>

専門科目	基盤・療養支援看護学領域	基盤実践看護学分野	基盤実践看護学特論	<p>看護の基盤となる概念および理論に関わる知識と構造を把握し、看護実践を支える人間理解および看護技術、教育、マネジメントについて俯瞰的に学修する。質の高い看護実践の基盤となる教育、看護組織や安全管理、看護倫理、社会的に脆弱な人々の健康問題など、看護の対象となる人々の多様性・複雑性に対応した看護のあり方について探究する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (5 小堀 栄子／2回) 国際移民の健康に関する概要や概念・理論、日本の移民の健康に関する現状について講義と討議を行う。</p> <p>(7 佐久間 夕美子／9回)) 看護の基盤となる概念と構造、主要な看護理論、看護理論と看護実践、実践科学としての看護、看護実践における倫理的課題について理解する。</p> <p>(17 山居 輝美／2回) 看護技術の科学的根拠に基づく実践や看護師育成のための教育的な手法について、講義とプレゼンテーション、討議を行う。</p> <p>(19 神谷 美紀子／2回) 看護組織管理や看護サービスの質保証と安全管理について、講義とプレゼンテーション、討議を行う。</p>	オムニバス方式
			基盤実践看護学演習	<p>幅広く保健・医療・福祉・教育の視点から、多種多様な背景をもつ対象の健康課題やリスク要因、健康の保持増進・疾病予防および健康回復に向けた看護実践、リスクマネジメント、人材育成など、学生が関心をよせる現象を中心に、既習の理論や経験も活かして文献検討と討議を行う。さらに、関心をよせるテーマに基づき、フィールドワークまたは教育活動等の計画を立案、実践し、リフレクションを用いて深く思索しながら研究疑問を明確にする。</p>	共同
			基盤実践看護学援助特論	<p>様々な看護実践の基盤となる援助技術の特性とその意義、教育課程および教授方法のほか、援助技術や対人援助における科学的根拠の検証を目指した研究アプローチとして、質的研究・量的研究と活用事例を検討する。また、看護管理および看護実践におけるリスクマネジメントに関する理論や課題、研究アプローチを理解し、批判的に分析を行う能力を培う。さらに、看護実践や教育を取り巻く諸問題の背景と現状に関する研究の動向および課題、エビデンスに基づく援助技術と検証・開発の方法、技術教育の具体的方法について探求する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (7 佐久間 夕美子／7回)) 看護実践における援助技術と対人援助・教育のあり方、看護実践および教育に関する研究アプローチなどについて理解する。</p> <p>(17 山居 輝美／4回) 対人援助技術・コミュニケーション技法や、診療の補助技術に関する研究アプローチと活用事例などについて考察する。</p> <p>(19 神谷 美紀子／4回) 療養生活の援助技術や看護管理および看護実践におけるリスクマネジメントに関する研究アプローチと活用事例について、考察する。</p>	オムニバス方式

専門科目	基盤・療養支援看護学領域	療養支援看護学分野	療養支援看護学特論	<p>様々な場で療養生活をおくる人々とその家族を理解し、専門的な看護援助、健康の増進と健康に関する課題を取り上げる。それらに対応する概念、看護理論を学修し、文献および実践事例等を通して、看護の在り方を探求する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (3 稲垣 美紀／3回) 急性・重症患者や周術期患者に関係する理論や、療養生活をおくる人々・家族への看護について理解する。</p> <p>(10 松田 千登勢／4回) 療養生活支援看護や高齢者看護に関係する理論、看護活動と看護師の役割などについて理解する。</p> <p>(12 森谷 利香／3回) 慢性病をもつ人々の理解や看護の役割、看護に有用な理論について理解する。</p> <p>(15 竹下 裕子／3回) がん・終末期患者の理解や看護師の役割、看護の課題などについて理解する。</p> <p>(3 稲垣 美紀・10 松田 千登勢・12 森谷 利香・15 竹下 裕子／2回) (共同) 療養生活をおくる人々・家族への看護の今後の課題および展望などについて理解する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
			療養支援看護学演習	<p>療養生活を送る人々、家族が経験する健康問題、健康課題を文献によって明らかにし、それらの課題に対する支援方法および評価方法を検討する。関心のあるテーマやテーマに関する疑問を明確にしてフィールドワーク・実習を行い、療養する人々とその家族におきる現象を把握する。これらをもとに、対象者が抱える困難や問題を社会情勢などの背景もふまえ、関連する様々な概念や理論を用いて深く思索し、研究課題を明確にする。</p>	共同
			療養支援看護学援助特論	<p>療養生活をおくる人々とその家族への看護など、人々のQOL向上にむけた看護援助に関する問題を取り上げる。それらの問題の背景と現状、課題を文献および実践事例等を通して把握し、ケアの質向上にむけた看護活動のあり方を探究する。また、看護実践における倫理的課題の検討および看護職の役割について考察する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (3 稲垣 美紀／4回) 療養生活をおくる人々への看護援助について、支援方法やその評価を理解する。</p> <p>(10 松田 千登勢／3回) 療養生活をおくる人々への看護実践における倫理的課題などについて理解する。</p> <p>(12 森谷 利香／4回) 地域・療養生活支援看護における既習の理論などを活用し、療養生活をおくる人々への看護援助について理解する。</p> <p>(15 竹下 裕子／2回) 療養生活をおくる人々への看護援助について、理論、支援方法とその評価に関する現状の課題などについて理解する。</p> <p>(3 稲垣 美紀・10 松田 千登勢・12 森谷 利香・15 竹下 裕子／2回) (共同) 療養生活をおくる人々・家族への看護援助について、支援の現状の課題、今後への展望などについて理解する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

専門科目	地域・次世代発達支援看護学領域	地域支援看護学分野	地域支援看護学特論	<p>地域あるいは地域における各施設など様々な場で生活する高齢者、健康者、療養児・者とその家族を理解し、支援するための概念や理論を踏まえ、実践と研究への適応を検討し、多様な課題を持つ人々への看護活動に関する研究への関心と探究心を養う。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (8 田中 結華／4回) 在宅で療養する人々とその家族に関する理論・実践・研究動向などについて理解する。</p> <p>(9 富永 真己／4回) 集団・地域を対象とする看護活動や、個人・家族、個人・家族・集団を対象とする看護の理論と方法などについて理解する。</p> <p>(11 眞野 祥子／4回) 地域で生活する精神障害者とその家族に関する理論・実践・研究動向などについて理解する。</p> <p>(8 田中 結華・9 富永 真己・11 眞野 祥子／3回) (共同) 看護の対象としての個人、家族、集団、地域を理解するために必要な視点や、自己の関心のあるテーマについて理論と実際を検討する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
			地域支援看護学演習	<p>看護の対象としての個人、家族、集団、地域における健康課題を文献によって明らかにし、その支援方法の検討および評価を行う。関心のあるテーマを焦点づけ、疑問を明確にしてフィールドワーク・実習を行い、地域住民、療養する人々とその家族、集団、地域におきる現象を把握する。これらをもとに、対象者が抱える困難や問題を、社会情勢なども含めた背景を、関連する様々な概念や理論を用いて深く思索し、研究課題を明確にする。</p>	共同
			地域支援看護学援助特論	<p>地域での健康生活および療養生活をおくる人々とその家族への看護など、地域における個人、家族、集団、地域を対象とし、人々のQOL向上にむけた看護援助に関する問題を取り上げる。それらの問題の背景と現状、課題を文献および実践事例等を通して把握し、ケアの質向上にむけた看護活動のあり方を探究する。また、看護実践における倫理的課題の検討および看護職の役割について考察する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回) (8 田中 結華／4回) 地域で療養する人々への看護援助に関する問題をテーマとして取り上げ、理論、支援方法とその評価などについて考察する。</p> <p>(9 富永 真己／4回) 地域ヘルスケアシステムの要である看護職・介護職の健康に関する組織の課題をテーマとして取り上げ、理論、支援方法とその評価などについて考察する。</p> <p>(11 眞野 祥子／4回) 精神疾患をもち地域で生活する人々への看護援助に関する問題をテーマとして取り上げ、理論、支援方法とその評価などについて考察する。</p> <p>(8 田中 結華・9 富永 真己・11 眞野 祥子／3回) (共同) 地域支援看護における既習の理論やエビデンスを活用し、文献および事例検討するために必要な視点や、今後のケアの質向上にむけた看護活動のあり方などについて理解する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

専門科目	地域・次世代発達支援看護学領域	次世代発達支援看護学分野	次世代発達支援看護学特論	<p>ライフサイクル全般にわたる専門的な看護援助、健康増進と健康に関する課題を解決するために、Evidence based Medicine に基づいた知見を学修する。さらに、発達理論、家族関係理論、セルフケア理論など、子どもと家族に関する諸理論や概念を学修し、子どもの文化的背景、社会状況や生活および養育環境との関係の中で子どもと家族の理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式／全 15 回)</p> <p>(1 池田 友美／5 回)</p> <p>子どもと家族の発達や子どもの権利、ピアジェ認知発達理論、エリクソンの心理社会的発達理論などについて理解する。</p> <p>(2 井田 歩美／5 回)</p> <p>セルフケア理論と看護への適用、思春期・成熟期・更年期・老年期における健康課題と具体的支援について理解する。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美／5 回)</p> <p>アタッチメント理論、家族システム理論、家族関係理論、認知行動理論などについて理解する。</p>	オムニバス方式
			次世代発達支援看護学演習	<p>女性や子どもとその家族の健康保持・増進および疾病予防、健康回復にむけた実践における課題、専門職のケア向上への教育に関する課題など、文献検索やクリティーク・プレゼンテーションや討議を通して疑問を明確にする。さらに、フィールドワーク・実習等実践活動を行い、疑問や問題としていることを研究課題へと発展できる能力を養う。</p>	共同
			次世代発達支援看護学援助特論	<p>リプロダクティブ・ヘルスに関する看護実践方法および子どもと家族の発達促進、QOL 向上のための看護実践方法について、関連する科目で学んだ理論や概念を基盤とし、文献と事例展開を通して検討する。さらに、これらの看護実践に伴う対象のアドボカシーへの課題や倫理的問題に対する看護職者の役割や活動についても考察する。</p> <p>(オムニバス方式／全 15 回)</p> <p>(1 池田 友美／5 回)</p> <p>重症心身障害児や発達障害児とその家族に対する看護と関係機関との連携、看護の課題と展望などについて理解する。</p> <p>(2 井田 歩美／5 回)</p> <p>プレコンセプションケアと包括的性教育、出生前診断と着床前診断、高度生殖補助医療における倫理的課題などについて理解する。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美／5 回)</p> <p>子ども虐待の歴史と現状、法的理解、他機関連携、看護職の役割、家族への養育支援プログラムなどについて理解する。</p>	オムニバス方式

<p>研究科目</p>	<p>看護学特別研究</p>	<p>専攻する領域の演習で明らかになった研究疑問に基づき、研究課題の明確化、研究目的の設定、研究計画立案、研究倫理審査、データ収集、分析・解釈、論文作成、発表が行えるよう指導し、研究を実施する基礎的な能力を育成する。</p> <p>(1 池田 友美) 病気や障がいのある子どもと家族への生活支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 井田 歩美・14 名草 みどり) 妊産婦へのケアおよび育児支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(3 稲垣 美紀・13 稲垣 範子・15 竹下 裕子) 急性期にある患者の看護、循環器疾患患者の看護に関する研究指導を行う。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美・20 亀田 直子) 子ども虐待予防、早期発見および子育て支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(5 小堀 栄子) 日本在住外国人のヘルシー・マイグランド効果と健康リスクに関する研究指導を行う。</p> <p>(7 佐久間 夕美子・17 山居 輝美・19 神谷 美紀子) 女性の心身の健康および健康教育、看護学教育に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 田中 結華) 慢性の病いととも生きる人々への看護、オストメイトの看護に関する研究指導を行う。</p> <p>(9 富永 真己) 保健・医療・介護の労働職場環境と労働者の心身の健康度や離職に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 松田 千登勢・16 村瀬 由貴) 高齢者とその家族、特に認知症高齢者に関する研究指導を行う。</p> <p>(11 眞野 祥子・18 山本 智津子) 母子関係、家族関係、母親のメンタルヘルスに関する研究指導を行う。</p> <p>(12 森谷 利香) 慢性病、特に神経難病患者の看護に関する研究指導を行う。</p>	
-------------	----------------	---	--

授業科目の概要

（看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	看護学研究方法特論		<p>看護学の分野の実践的な支援や学問の発展につながる研究の遂行を目指し、基本的知識とともに異なる研究デザインの看護研究の方法論を、国内外の質の高い研究論文を通して学ぶ。また、戦略的に看護研究を遂行するための研究費の獲得や研究計画の立案、研究倫理の配慮、成果発表のプレゼンテーションや論文発表等の基本的な知識とともに、科学的思考を育むための批判力、倫理性、表現力を養い、自立して看護研究を遂行する能力を修得する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回） （3 稲垣 美紀／2回）</p> <p>看護の実践的な支援に関わる尺度を新たに開発する方法を、国内外の論文の事例を通して学び、批判力・倫理性・表現力の点から議論する。</p> <p>（8 富永 真己／9回）</p> <p>看護研究の意義と研究のエビデンスレベル、量的研究（基本的事項、二変量解析・多変量解析、二群比較・ロジスティック回帰分析）や研究計画書の作成と妥当性などについて考察する。</p> <p>（11 森谷 利香／4回）</p> <p>質的研究に関する複数の理論と方法について、国内外の論文の事例を通して学び、批判力・倫理性・表現力の点から議論する。</p>	オムニバス方式

<p>共通科目</p>	<p>看護実践応用特論</p>	<p>情報通信技術の急速な進歩をはじめ、人々を取り巻く環境が急速に変化する中、医療や看護における技術や知識、人々のニーズも変化しつつある。世界中で新しいアイデアが求められ、人工知能（AI）が使われるようになる中、本科目では変わりゆく時代に求められる医療や看護における最新の研究成果や学際的な知見を多様な分野からゲストスピーカーを招いて学ぶ。看護学の研究により、現場の課題解決や実践に変化をもたらす実装研究への発展性を考察する力を身につける。</p> <p>(オムニバス方式／全8回)</p> <p>(2 井田 歩美／1回) 医療の全体の発展をめざし医学と看護の融合を検討するため、ゲストスピーカーを招き、幅広い視点から学際的に研究課題を検討する。</p> <p>(3 稲垣 美紀／1回) 看護に活用するITや人工知能などの情報科学分野からゲストスピーカーを招き、幅広い視点から学際的に研究課題を検討する。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美／1回) 本科目の履修目的・履修方法などのオリエンテーションを行う。各自のこれまでの研究成果と研究課題を踏まえ、実践応用研究への発展を意義づける。</p> <p>(7 田中 結華／1回) 社会学的な視点から医療コミュニケーションを専門とするゲストスピーカーを招き、幅広い視点から学際的に研究課題を検討する。</p> <p>(9 松田 千登勢／1回) 看護・介護に活用するロボットの活用など工学分野からゲストスピーカーを招き、幅広い視点から学際的に研究課題を検討する。</p> <p>(10 眞野 祥子／1回) 認知行動療法の専門家を招き、幅広い視点から学際的に研究課題を検討する。</p> <p>(2 井田 歩美・3 稲垣 美紀・4 鎌田 佳奈美・7 田中 結華・9 松田 千登勢・10 眞野 祥子／2回) (共同) 自己の研究課題について、看護実践への応用や実装研究への発展性を検討する。</p>	<p>オムニバス方式・共同 (一部)</p>
-------------	-----------------	--	----------------------------

専門科目	基盤・療養支援看護学特論	<p>基盤看護学および健康障害をもち療養する人々を対象とした看護学に関する医療・看護の課題について、高度で深い専門的な知識基盤を構築するため、国内外の文献検討を通して概念や理論を多角的に検討し、さらに研究・教育・実践の動向を分析する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(3 稲垣 美紀/3回) 急性・重症患者、周術期および循環器疾患患者の支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(5 小堀 栄子/2回) 日本在住移民の健康の把握および維持・増進に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(6 佐久間 夕美子/2回) 看護学教育に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(9 松田 千登勢/3回) 病院、施設、地域における高齢者とその家族への看護に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(11 森谷 利香/2回) 慢性の病い、特に神経難病をもつ人々への支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(3 稲垣 美紀・5 小堀 栄子・6 佐久間 夕美子・9 松田 千登勢・11 森谷 利香/3回) (共同) 授業オリエンテーション、基盤・療養看護学に関する研究テーマ紹介およびまとめの発表と討議を行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
	基盤・療養支援看護学演習	<p>基盤看護学および健康障害をもち療養する人々を対象とした看護学に関する医療・看護の課題について、問題解決に向けた新たな理論開発の可能性を検討する。自己の研究課題を焦点化し、研究の枠組み、研究方法論を開発する能力を修得する。到達目標①基盤看護学および健康障害をもち療養する人々を対象とした看護学に関する国内外の文献を検討し、議論を通して自己の研究課題について焦点化する、②自己の研究課題に即した研究の枠組み、研究実施に必要な研究方法論を選択することができる。</p>	

専門科目	地域・次世代発達支援看護学 特論	<p>地域で生活する人々、次世代としてこれから発達する人々および次世代を育成する人々を対象とした医療・看護の課題について高度で深い専門的な知識基盤を構築するため、国内外の文献検討を通して概念や理論を多角的に検討し、さらに研究・教育・実践の動向を分析する。</p> <p>(オムニバス方式／全 15 回)</p> <p>(1 池田 友美／2 回) 病気や障がいをもつ子どもと家族の支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(2 井田 歩美／2 回) 女性の健康支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美／2 回) 虐待予防にむけた子どもと家族への支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(7 田中 結華／2 回) 地域で暮らすオストメイトへの支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(8 富永 真己／2 回) 人々の職場環境における健康に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(10 眞野 祥子／2 回) メンタルヘルスおよび精神障害をもつ人々への支援に関する主要な文献や先行研究を精読・吟味し、理論および概念を検討する。</p> <p>(1 池田 友美・2 井田 歩美・4 鎌田 佳奈美・7 田中 結華・8 富永 真己・10 眞野 祥子／3 回) (共同) 授業オリエンテーション、地域・次世代発達看護学に関する研究テーマ紹介およびまとめの発表と討議を行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
	地域・次世代発達支援看護学 演習	<p>地域で生活する人々、次世代としてこれから発達する人々および次世代を育成する人々を対象とした看護学に関する医療・看護の課題について、問題解決に向けた新たな理論開発の可能性を検討する。自己の研究課題を焦点化し、研究の枠組み、研究方法論を開発する能力を修得する。到達目標①地域で生活する人々、次世代としてこれから発達する人々および次世代を育成する人々を対象とした看護学に関する国内外の文献を検討し、議論を通して自己の研究課題について焦点化する、②自己の研究課題に即した研究の枠組み、研究実施に必要な研究方法論を選択することができる。</p>	

<p>研究科目</p>	<p>特別研究</p>	<p>本科目では、地域社会の医療・看護の課題への探究心や課題を解決するための幅広い高度な知識や技術を基盤とし、国内に留まらず広い視野と高邁な倫理観をもち、学問の深化と発展に貢献するための自立した研究を進めることのできる高度専門職業人、教育者・研究者となる人材育成に必要な科目である。</p> <p>「特別研究」を通して、実践的な経験と学問的な知識を結びつけ、院生が主体的に研究課題を明確化し、研究の背景や意義、研究方法、予想される成果から成る研究計画書を作成する。さらに研究計画書に従いデータ収集・分析を進め、得られた結果を適切に考察し、研究成果を成果発表および学術雑誌への論文投稿を通して、博士としての研究力を高める。研究遂行の過程では、院生は研究指導教員および研究指導補助教員と議論しながら主体的に研究を進め、学会や研究会等、学外の専門家等と活発な議論を交える機会を積極的に得て、論文を作成する。</p> <p>(1 池田 友美) 病気や障がいのある子どもとその家族の生活の質の向上に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 井田 歩美) 次代を担う子どもを生み育てる人々に関する研究、思春期から更年期における女性に関する研究指導を行う。</p> <p>(3 稲垣 美紀) 急性・重症患者、周術期患者、循環器疾患患者の支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(4 鎌田 佳奈美) 虐待予防にむけた子どもと家族への支援、子どもと家族に関わる看護職への支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(5 小堀 栄子) 日本在住移民の健康の把握および維持・増進に関する疫学的・公衆衛生学的研究指導を行う。</p> <p>(6 佐久間 夕美子) 看護教育、多職種連携、女性のライフステージにおける様々な健康課題と支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(7 田中 結華) 地域で暮らす人々への支援に関する研究、オストメイトへの支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(8 富永 真己) 医療・保健・福祉産業の専門職を含む人々の職場環境と健康度、離職や Well-being に関する研究指導を行う。</p> <p>(9 松田 千登勢) 病院、施設、地域における高齢者とその家族、およびケアに携わる看護職者に関する研究指導を行う。</p> <p>(10 眞野 祥子) 母親の育児ストレス軽減とメンタルヘルス向上に関する研究、精神障害者の社会復帰に関する研究指導を行う。</p> <p>(11 森谷 利香) 慢性の病、特に神経難病をもつ人々、あるいは神経難病をもつ人々のケアに携わる看護職者に関する研究指導を行う。</p> <p>(14 村瀬 由貴) 高齢者の看護、および文化を考慮した看護ケアやコミュニケーション教育に関する研究指導を行う。</p>	
-------------	-------------	---	--

研究科目	特別研究	<p>(15 山本 智津子) 精神障害者に対する地域生活支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(16 亀田 直子) 意思疎通が難しい状態にある子どもとその家族のケアに関する研究、現象学的研究指導を行う。</p>	
------	------	--	--

学校法人常翔学園 設置認可等に関する組織の移行表

令和7年度	入学 定員	2年次 編入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	令和8年度	入学 定員	2年次 編入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員 (完成年度)	変更の事由
摂南大学大学院					摂南大学大学院					
薬学研究科	4	-	-	16	薬学研究科	4	-	-	16	
医療薬学専攻 (4年制D)	4	-	-	16	医療薬学専攻 (4年制D)	4	-	-	16	
理工学研究科	38	-	-	80	理工学研究科	38	-	-	80	
社会開発工学専攻 (M)	12	-	-	24	社会開発工学専攻 (M)	12	-	-	24	
生産開発工学専攻 (M)	12	-	-	24	生産開発工学専攻 (M)	12	-	-	24	
生命科学専攻 (M)	10	-	-	20	生命科学専攻 (M)	10	-	-	20	
創生工学専攻 (D)	2	-	-	6	創生工学専攻 (D)	2	-	-	6	
生命科学専攻 (D)	2	-	-	6	生命科学専攻 (D)	2	-	-	6	
経済経営学研究科	10	-	-	20	経済経営学研究科	10	-	-	20	
経済学専攻 (M)	5	-	-	10	経済学専攻 (M)	5	-	-	10	
経営学専攻 (M)	5	-	-	10	経営学専攻 (M)	5	-	-	10	
法学研究科	5	-	-	10	法学研究科	5	-	-	10	
法学専攻 (M)	5	-	-	10	法学専攻 (M)	5	-	-	10	
国際言語文化研究科	5	-	-	10	国際言語文化研究科	5	-	-	10	
国際言語文化専攻 (M)	5	-	-	10	国際言語文化専攻 (M)	5	-	-	10	
看護学研究科	6	-	-	12	看護学研究科	6	-	-	14	
看護学専攻 (M)	6	-	-	12	看護学専攻 (M)	<u>4</u>	-	-	<u>8</u>	定員変更 (△)
					看護学専攻 (D)	<u>2</u>	-	-	<u>6</u>	課程変更 (認可申請)
農学研究科	23	-	-	49	農学研究科	23	-	-	49	
農学専攻 (M)	20	-	-	40	農学専攻 (M)	20	-	-	40	
農学専攻 (D)	3	-	-	9	農学専攻 (D)	3	-	-	9	
計	91	-	-	197	計	91	-	-	199	

令和7年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員 (完成年度)	令和8年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員 (完成年度)	変更の事由
摂南大学					摂南大学					
理工学部	585	-	30	2,400	理工学部	585	-	30	2,400	
生命科学科	105	-	5	430	生命科学科	105	-	5	430	
住環境デザイン学科	85	-	5	350	住環境デザイン学科	85	-	5	350	
建築学科	80	-	5	330	建築学科	80	-	5	330	
機械工学科	130	-	5	530	機械工学科	130	-	5	530	
電気電子工学科	105	-	5	430	<u>電気電子情報工学科</u>	105	-	5	430	名称変更
都市環境工学科	80	-	5	330	都市環境工学科	80	-	5	330	
経営学部	280	-	6	1,132	経営学部	280	-	6	1,132	
経営学科	280	-	6	1,132	経営学科	280	-	6	1,132	
薬学部	220	-	-	1,320	薬学部	220	-	-	1,320	
薬学科 (6年制)	220	-	-	1,320	薬学科 (6年制)	220	-	-	1,320	
法学部	280	-	5	1,130	法学部	280	-	5	1,130	
法律学科	280	-	5	1,130	法律学科	280	-	5	1,130	
経済学部	280	-	4	1,128	経済学部	280	-	4	1,128	
経済学科	280	-	4	1,128	経済学科	280	-	4	1,128	
看護学部	100	-	-	400	看護学部	100	-	-	400	
看護学科	100	-	-	400	看護学科	100	-	-	400	
農学部	340	-	-	1,360	農学部	340	-	-	1,360	
農業生産学科	80	-	-	320	農業生産学科	80	-	-	320	
応用生物科学科	80	-	-	320	応用生物科学科	80	-	-	320	
食品栄養学科	80	-	-	320	食品栄養学科	80	-	-	320	
食農ビジネス学科	100	-	-	400	食農ビジネス学科	100	-	-	400	
国際学部	250	-	5	1,010	国際学部	250	-	5	1,010	
国際学科	250	-	5	1,010	国際学科	250	-	5	1,010	
現代社会学部	250	-	-	1,000	現代社会学部	250	-	-	1,000	
現代社会学科	250	-	-	1,000	現代社会学科	250	-	-	1,000	
計	2,585	-	50	10,880	計	2,585	-	50	10,880	

令和7年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和8年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
大阪工業大学大学院					大阪工業大学大学院					
工学研究科	116	-	-	238	工学研究科	116	-	-	238	
建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	-	60	建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	-	60	
建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	-	6	建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	-	6	
電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	-	100	電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	-	100	
電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	-	6	電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	-	6	
化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	-	60	化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	-	60	
化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	-	6	化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	-	6	
ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	-	66	ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	-	66	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	-	60	ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	-	60	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	-	6	ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	-	6	
情報科学研究科	45	-	-	95	情報科学研究科	45	-	-	95	
情報科学専攻 (M)	40	-	-	80	情報科学専攻 (M)	40	-	-	80	
情報科学専攻 (D)	5	-	-	15	情報科学専攻 (D)	5	-	-	15	
知的財産研究科	30	-	-	60	知的財産研究科	30	-	-	60	
知的財産専攻 (P)	30	-	-	60	知的財産専攻 (P)	30	-	-	60	
計	223	-	-	459	計	223	-	-	459	

令和7年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和8年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
大阪工業大学					大阪工業大学					
工学部	900	-	40	3,680	工学部	900	-	40	3,680	
都市デザイン工学科	100	-	5	410	都市デザイン工学科	100	-	5	410	
建築学科	150	-	5	610	建築学科	150	-	5	610	
機械工学科	140	-	5	570	機械工学科	140	-	5	570	
電気電子システム工学科	125	-	5	510	電気電子システム工学科	125	-	5	510	
電子情報システム工学科	110	-	5	450	電子情報システム工学科	110	-	5	450	
応用化学科	130	-	5	530	応用化学科	130	-	5	530	
環境工学科	75	-	5	310	環境工学科	75	-	5	310	
生命工学科	70	-	5	290	生命工学科	70	-	5	290	
ロボティクス&デザイン工学部	280	-	15	1,150	ロボティクス&デザイン工学部	280	-	15	1,150	
ロボット工学科	90	-	5	370	ロボット工学科	90	-	5	370	
システムデザイン工学科	90	-	5	370	システムデザイン工学科	90	-	5	370	
空間デザイン学科	100	-	5	410	空間デザイン学科	100	-	5	410	
情報科学部	460	-	15	1,870	情報科学部	460	-	15	1,870	
データサイエンス学科	80	-	-	320	データサイエンス学科	80	-	-	320	
実世界情報学科	80	-	-	320	実世界情報学科	80	-	-	320	
情報知能学科	100	-	5	410	情報知能学科	100	-	5	410	
情報システム学科	100	-	5	410	情報システム学科	100	-	5	410	
情報メディア学科	100	-	5	410	情報メディア学科	100	-	5	410	
知的財産学部	140	-	10	580	知的財産学部	140	-	10	580	
知的財産学科	140	-	10	580	知的財産学科	140	-	10	580	
計	1,780	-	80	7,280	計	1,780	-	80	7,280	

令和7年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和8年度	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
広島国際大学大学院					広島国際大学大学院					
看護学研究科	13	-	-	29	看護学研究科	13	-	-	29	
看護学専攻 (M)	10	-	-	20	看護学専攻 (M)	10	-	-	20	
看護学専攻 (D)	3	-	-	9	看護学専攻 (D)	3	-	-	9	
薬学研究科	2	-	-	8	薬学研究科	2	-	-	8	
医療薬学専攻 (4年制D)	2	-	-	8	医療薬学専攻 (4年制D)	2	-	-	8	
医療科学研究科	14	-	-	32	医療科学研究科	14	-	-	32	
保健医療学専攻 (M)	5	-	-	10	保健医療学専攻 (M)	5	-	-	10	
保健医療学専攻 (D)	2	-	-	6	保健医療学専攻 (D)	2	-	-	6	
リハビリテーション学専攻 (M)	5	-	-	10	リハビリテーション学専攻 (M)	5	-	-	10	
リハビリテーション学専攻 (D)	2	-	-	6	リハビリテーション学専攻 (D)	2	-	-	6	
健康科学研究科	32	-	-	66	健康科学研究科	32	-	-	66	
医療福祉学専攻 (M)	5	-	-	10	医療福祉学専攻 (M)	5	-	-	10	
医療経営学専攻 (M)	5	-	-	10	医療経営学専攻 (M)	5	-	-	10	
心理学専攻 (M)	20	-	-	40	心理学専攻 (M)	20	-	-	40	
心理学専攻 (D)	2	-	-	6	心理学専攻 (D)	2	-	-	6	
計	61	-	-	135	計	61	-	-	135	

広島国際大学					広島国際大学					
保健医療学部	220	-	-	880	保健医療学部	220	-	-	880	
診療放射線学科	70	-	-	280	診療放射線学科	70	-	-	280	
医療技術学科	100	-	-	400	医療技術学科	100	-	-	400	
救急救命学科	50	-	-	200	救急救命学科	50	-	-	200	
総合リハビリテーション学部	180	-	-	720	総合リハビリテーション学部	180	-	-	720	
リハビリテーション学科	180	-	-	720	リハビリテーション学科	180	-	-	720	
看護学部	120	-	10	500	看護学部	120	-	10	500	
看護学科	120	-	10	500	看護学科	120	-	10	500	
薬学部	120	-	-	720	薬学部	120	-	-	720	
薬学科 (6年制)	120	-	-	720	薬学科 (6年制)	120	-	-	720	
健康科学部	350	-	-	1,400	健康科学部	350	-	-	1,400	
医療経営学科	90	-	-	360	医療経営学科	90	-	-	360	
心理学科	100	-	-	400	心理学科	100	-	-	400	
医療栄養学科	60	-	-	240	医療栄養学科	60	-	-	240	
社会学科	100	-	-	400	社会学科	100	-	-	400	
健康スポーツ学部	70	-	-	280	健康スポーツ学部	70	-	-	280	
健康スポーツ学科	70	-	-	280	健康スポーツ学科	70	-	-	280	
計	1,060	-	10	4,500	計	1,060	-	10	4,500	